

The History of Dior Jacket

「バー」ジャケット生誕75周年!

進化し続ける「ディオール ジャケット」の 誕生と歩み

女性のファッションに革命をもたらした功績をもちながら、
今なお進化し続ける「ディオール ジャケット」の軌跡を辿ります。



1947年に誕生した
「バー」ジャケットは
「ニュールック」の象徴に

© Association Wiley Maynard/ADAP - Paris 2020

服飾史家・中野香織さんが語る
唯一無二の魅力

ディオールのテーラリング技術の真髄でもある「バー」ジャケットの伝統を継承しながら、黒で厳選した12型の「ディオール ジャケット」が誕生しました。「時代感覚に合わせアッパデットしているアイコン的ジャケットがあるというのは、メゾンにとって、この上ない幸運」と語る、服飾史家・中野香織さんと、マスターピースの魅力を探ります。

「バー」ジャケットは女性の自立を応援する服でもありました。その名前は、ディオール。本社の近隣に位置する名門ホテル「プラザ・アテネ」に由来。曲線的なラインではありますが、テーラリングの技術を駆使し、女性がひとり安心してバーに行けるといふコンセプトでつくられたもの。コンセプトと基本のデザインが確固たるものであるからこそ、時代が変わり、女性の社会的地位や、女性らしさのとらえられ方が変化しても、時代に応じたシルエットの変化や、色や柄、素材のアレンジにより可能性が無限に広がって、これこそが時代を超えて輝きを放つタイムレスな強みになっています。

なだらかな肩のライン、絞ったウエスト、ペブラムの裾、開いたネットワークラインを特徴とした、女性の豊かな曲線美を強調した一着は、時代のムードを一気に変える革命的な存在

